

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">データベース利用法</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部コミ2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">中道 厚子</p>
<p>授業テーマ</p> <p>氾濫する情報の中から、必要な情報を取り出し活用するため、様々なデータベースの利用方法を身につける。</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>自分自身の興味関心を掘り下げ、深めるために、身の回りにある様々なデータベースを活用できるようになる。 毎回、パソコンを活用し、知識・技術を積み上げるので、欠席しないこと。</p>		
<p>評価方法</p> <p>授業への取り組みや課題の評価を中心に行う。</p>		
<p>テキスト</p> <p>授業中に指示する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p>必要に応じて提示</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. データベースとは①－基本－ 身近なデータベース 2. データベースとは②－基本－ データベースの仕組み1 3. データベースとは③－基本－ データベースの仕組み2 4. 既存のデータベース利用① 5. 既存のデータベース利用② 各自のパソコンを活用し、必要な情報を収集するために 6. 既存のデータベース利用③ 既存のデータベースから、その情報を入手するための基本的な 7. 既存のデータベース利用④ 方法を身につける。 8. 既存のデータベース利用⑤ 9. グループでデータベースを作る① 収集したデータを、グループで協力して、一つの大きな 10. グループでデータベースを作る② 情報のかたまりに作り上げていく。その過程を通して、 11. グループでデータベースを作る③ データベースの構造と使いやすいデータベースのあり方 12. グループでデータベースを作る④ 等を考える。 13. グループでデータベースを作る⑤ 14. 発表・相互評価 15. 夏休みの課題について 16. 夏休みの課題発表 17. データベースとは④－発展－ データベースの作成で得た知識の上に、データベースの仕組みや 18. データベースとは⑤－発展－ それがどのように活用されているかを知る。 19. データベースとは⑥－発展－ 20. データベースの活用法① 21. データベースの活用法② 無料のオンラインだけでなく有料のオンラインやオフラインのデ 22. データベースの活用法③ ータベースを活用する。 23. データベースの活用法④ 24. データベースを活用したレポート作成① 各自が、これまでの授業で習得した手法を活用し、 25. データベースを活用したレポート作成② 3回生以降に取り組む分野に関連した情報を収集し、 26. データベースを活用したレポート作成③ 自分の将来の研究に役立つデータベースを設計する。 27. データベースを活用したレポート作成④ そのデータベースを活用し、レポートを作成する。 28. 発表・相互評価① 29. 発表・相互評価② 30. まとめ 		